



新しいイスラエル

2012/12/30

旧約聖書入門おまけ③

イスラエルの功績

- イスラエルは人間の弱さや罪深さを証明するためだけに存在したのか？
 - 主なる神に選ばれた民族であった
 - 律法による契約を守れなかった
 - 人間は行いによって義とされることはないことを証明した
- 主なる神の御本性が明らかになった
 - 「しかし、あなたは罪を赦す神。恵みに満ち、憐れみ深く／忍耐強く、慈しみに溢れ／先祖を見捨てることはなさらなかった。」＜ネヘミヤ9:17＞
 - 彼らは単なる「**反面教師**」だったのか？

旧約聖書

- イスラエル,最大の功績は旧約聖書を残した事
- 編纂の経緯<ネヘミヤ8章>
 - 捕囚帰還後に,帰還民たちに律法を再教育する必要が生じた
 - ネヤミヤらによるエルサレムの城壁再建後,エズラによって律法の朗読が行われた
- なぜ,自分たちの**失敗の歴史**をこれほどまで赤裸々に,そして克明に書き残したのか?
 - 同じ過ちを繰り返し,同じ悲劇を味わわないため
 - 旧約聖書=「**大反省文**」!
 - 律法・預言者(歴史・預言書)・その他(詩篇など)

民は皆、水の門の前にある広場に集まって一人の人のようになった。彼らは書記官エズラに主がイスラエルに授けられた**モーセの律法の書**を持って来るように求めた。

祭司エズラは律法を会衆の前に持って来た。そこには、男も女も、聞いて理解することのできる年齢に達した者は皆いた。第七の月の一日のことであった。彼は水の門の前にある広場に居並ぶ男女、理解することのできる年齢に達した者に向かって、夜明けから正午までそれを読み上げた。民は皆、その律法の書に耳を傾けた。

彼らは神の律法の書を**翻訳し、意味を明らかにしながら**読み上げたので、人々はその朗読を理解した。

旧約聖書が教えてくれたこと

- 主なる神の存在
 - 主なる神の御本性
- 天地創造
 - 人間の起源
- 神と人間の関係
 - 神が人に求めておられること＜信頼（信仰）＞
 - 人間の弱さ（反面教師）
 - 罪と赦しの原則
- メシア予言
 - 主なる神は人間を救うための究極の計画を立てておられた

新しいイスラエル,教会

- イエス・キリストは,信仰の上に新しいイスラエルを建てる,と宣言された<マタイ16章>
 - 「この岩」とは,ペトロ本人ではなくペトロの信仰
 - 「わたしの教会を建てる」と言われた「教会」とは,旧約聖書ではイスラエルの「会衆」を指す言葉
- 神の民としてのイスラエルの役割は,イエス・キリストの十字架によって終わった
 - 神と人との間に「律法」が不要になった
 - ・ 「規則と戒律づくめの律法を廃棄されました」エフェソ2:15
 - ・ 初代教会の最大の問題は異邦人にも律法を守らせるかどうか,だった
 - 教会こそ新しい,そして**本当のイスラエル**である!

イエスが言われた。「それでは、あなたがたはわたしを何者だと言うのか。」

シモン・ペトロが、「あなたはメシア、生ける神の子です」と答えた。

すると、イエスはお答えになった。「シモン・バルヨナ、あなたは幸いだ。あなたにこのことを現したのは、人間ではなく、わたしの天の父なのだ。わたしも言うておく。あなたはペトロ。わたしはこの岩(信仰告白)の上にわたしの教会を建てる。陰府の力もこれに対抗できない。」(女性名詞)
ἐπὶ ταύτῃ τῇ πέτρᾳ(女性名詞) οἰκοδομήσω
μου τὴν ἐκκλησίαν (エクレシア=会衆)

ローマ11:25～26

兄弟たち、自分を賢い者とうぬぼれないように、次のような秘められた計画をぜひ知ってもらいたい。すなわち、一部のイスラエル人がかたくなになったのは、異邦人全体が救いに達するまでであり、こうして全イスラエルが救われるということです。次のように書いてあるとおりです。「救う方がシオンから来て、ヤコブから不信心を遠ざける。これこそ、わたしが、彼らの罪を取り除くときに、彼らと結ぶわたしの契約である。」

★イスラエルの救いのために祈ろう！